

学校だより **けやき坂**川西市立けやき坂小学校
校長 齋木 久雄

いよいよ19日（木）には、6年生72名が第26回卒業生として巣立の時を迎えます。卒業生並びに保護者の皆様に心からお祝いを申し上げると共に、この6年間、直接・間接的にご指導・ご支援頂きました多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

遅くなりましたが、裏面に12月に実施しましたアンケート（児童・保護者）の集計結果を掲載しております。つきましては、以下にその考察と学校評議員会（学校関係者評価）の意見を記載します。

<児童アンケート結果について>

全体的に昨年度よりも良好な結果となりました。

①～③については、肯定的意見が①は1.9%増加して84.3%、②は2.5%増加して86.7%、③は1.6%増加して96.5%になりました。しかし、①と②については、まだ否定的な意見を持っている児童が①は15.7%、②は13.3%有ることを重く受け止め、更に多くの児童が①「学校に行くのが楽しい」②「勉強がわかる」と感じられる学校を目指し、更に一人一人の児童を大切にしたい教育活動を実践していきたいと思えます。

④～⑨と⑫については、児童の自己評価であるが、④の「進んで挨拶をしている」について肯定的な意見が4.3%減少して74.0%になったのが気になります。挨拶は、人間関係の基本です。お互いに「進んで挨拶」ができるように、今後も指導を継続していきたいと思えます。また、⑦「自分の意見を発表している」について、肯定的な意見が2.9%増加しているものの65.6%と低い結果になっているのが気になります。子どもたちが「できる」と実感でき、さらに力を伸ばしていけるような実践を研修し、自分の意見を積極的に発表できる授業作り・学級の雰囲気作りに取り組んでいきたいと思えます。

⑩「友達から嫌なことを言われたりされたりしている」と⑪「友達に嫌な事を言ったりしたりしている」については、今年度より新たに追加した項目ですが、この2項目については肯定的意見と否定的意見の回答欄がその他の項目と逆になっており、子ども達が記入する際に混乱した可能性があります。しかし、⑩について、「そう思う」が22.3%、「大体そう思う」が16.8%で、⑪について「そう思う」が8.2%、「大体そう思う」が11.9%であることを深く受け止め、学級指導で子ども達に現状を伝え自分達の言動を振り返らせる等、子ども同士の人間関係の改善に努めていきたいと思えます。

⑬～⑮は、先生とのかかわり・児童の教師に対する評価になりますが、⑬・⑭について昨年度に比べて肯定的意見が増加している事を嬉しく思えます。更に全てが90%以上になるよう、教職員が一丸となって努力していきます。

<保護者アンケート結果について>

①～④の項目については、昨年度に比べて肯定的な意見が若干減少しています。特に③「学校は、優しさや思いやりのある子どもを育てようとしている」が92.6%で、決して悪い数字ではありませんが、3.4%減少していることをしっかりと受け止め、向上を図りたいと思います。

⑤～⑬については、肯定的な意見が増加しているが、特に⑥「学校便りやホームページ等を通して、子どもの様子や学習の様子を知ることができる」の肯定的意見が5.6%増加して97.9%になり、⑧「学校は、子どものことについて適切に相談に応じている」の肯定的意見が7.8%増加して91.3%になったことを嬉しく思います。また、⑫「家庭の中の仕事で、子どもに任せているものがある」の肯定的意見が6.0%増加して76.0%になりましたが、まだ少ないように思われます。更に⑬「家庭では、学校や学年、学級からの通信や連絡に目を通して」の肯定的意見が3.4%増加して99.5%になったことは、とてもありがたいことだと感謝しています。

⑭～⑰については、⑭「家庭では、子どもの学習用具が揃っているか気にかけている」の肯定的意見が0.3%減少して91.6%になり、⑯「子どもの友達や遊び場所を知っている」の肯定的意見が2.0%減少して95.7%になった事が気になります。また、⑰「何か起こった時、安心して子どもを預けられる人が近くにいる」の肯定的意見が8.4%増加して83.5%になりましたが、まだまだ保護者同士の横の繋がりが希薄のように感じられます。

<学校評議員会の意見>

○挨拶について

高学年になるに従って挨拶をする児童が少なくなっている。学校だけでなく家庭でもしっかりと指導する必要がある。

○情操教育の必要性について

理科の授業では氷が溶けると水になると教えるが、氷が溶けると春になるという視点の教育も必要である。

○保護者の変化

保護者が忙しくて、家庭で子どもにかかわる時間が減少しているように思う。学校・家庭・地域がしっかりと連携して子どもを育てていく必要がある。

○その他

習い事を始めるのは、「つ」がつく年（9歳）までが良い。
お箸の持ち方について。

<今後の課題について>

本校の校区である「けやき坂」では今後も住宅の分譲が続き、それに伴って児童数が増加します。今回の児童・保護者アンケートの結果を基にして、学校における「教育活動の質」の更なる向上を図ると共に、家庭・地域とも連携して「子ども同士・保護者同士の横のつながり」を深め、「家庭の教育力」を高める啓発活動に取り組みたいと思います。